

## 平成28年度223・百周年記念館映像配信業務について

○平田 正昭<sup>A)</sup>, 青木 敏裕<sup>A)</sup>, 大嶋 康敬<sup>A)</sup>, 佐藤 宇紘<sup>A)</sup>,

寺村 浩徳<sup>A)</sup>, 渡辺 祐太<sup>A)</sup>, 松本 英敏<sup>B)</sup>

<sup>A)</sup> 223・AV配信・百周年記念館ワーキンググループ

<sup>B)</sup> 学術支援グループ

### 1 はじめに

工学部百周年記念館（以後記念館）は工学部に限らず大学内・外の依頼者による講演会やイベント会場として日々利用されている。技術部はこの記念館の運営当初から映像・配信支援を行っており、前年度から平日は学術支援グループ1名、対応できない場合と休日の場合に223AV配信・百周年記念館映像配信ワーキンググループメンバー6名で業務にあたっている。実験や実習・ものクリ工房の管理など他業務と並行して行っている業務であり、依頼件数が多く急な対応の申し出もあることから負担となっている。従来から専任者の配置を要望するとともに、他に負担軽減策がとれないか模索している。

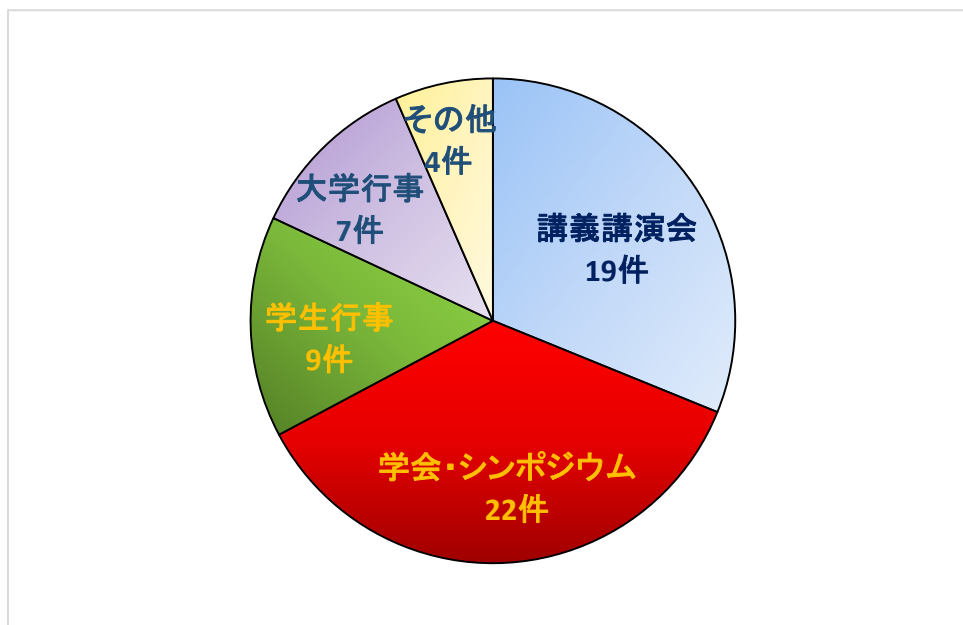
### 2 今年度の業務依頼、利用状況について

今年度はじめに熊本地震が発生し学内施設も大きな損害を受け、技術部は復旧作業を優先することとなった。また記念館施設・設備は安全確認のため使用制限がかけられた。この時期4月から9月の映像配信業務依頼件数は（記念館18件、2号館2件 WG担当分）となっている。

しかし学生を含め不慣れな者の使用で機器の損傷や事故発生の危険性が指摘され、基本として記念館で行われる全イベントに対して技術部が機器操作などの事前説明、事後確認を実施する運用規定が設定された。運用規定変更後の10月から翌3月の年度後半の映像配信業務依頼件数（記念館43件、2号館無し WG担当分）であった。

百周年記念館の利用予約（事務部受付）を見ると前期の4月～9月の合計83件だったものが後期は10月（33件）、11月（26件）、12月（32件）、1月（25件）、2月（28件）、3月（30件）の後期合計174件となっており、ほぼ毎日予約で埋まっている状態であった。この時期は例年繁忙期であるが地震で予定していた練習や発表会会場が使えず、代替え施設として使用する利用者が見られた。





グラフ 1 2016 年度百周年記念館映像配信業務依頼内訳

### 3 まとめ

改修工事が行われた前年度と地震により使用制限があった今年度との年間業務依頼件数を比較すると前年度 64 件に対し今年度 61 件と大きな違いは見られなかった。しかし後期に利用予約と業務依頼ともに増加・集中したためイベントの事前準備（打ち合わせや下見）や規約改正で始まった使用説明会を行おうとしても会場は既に予約で埋まっており日程・時間調整に配慮しなければならないことが多かった。

また今年度 WG の負担軽減策として記念館の詳細な使用方法をまとめた百周年利用案内（使用方法マニュアル）を作成し、操作講習会を開くことで学内の利用者自身で操作・運営する方法に切り替わる予定であった。

規約見直しで運用切り替えは断念となったが、百周年利用案内については多くの意見を取り入れて作成した。後のメンバーには利用者のため、機材更新などの折に実情に合った内容に改編していただき、引き継ぎをお願いしたい。

最後に今年度記念館では照明などの小さな消耗品から自動ドアなどの設備まで経年劣化と思われる故障で交換・修理が行われた。また WG 担当者から移動式客席の間にあった忘れ物の報告が頻繁にあり、チェックを怠ると巻き込んでしまい故障する恐れがあった。連日長時間の利用がある時期にこれらの故障が発生すると修理・交換作業が実施困難なイベントに支障が出てしまう。

故障発生時すぐに対応できる業者ばかりではなく、発注しても取り寄せに時間がかかる物もあるため、施設管理者には安全面からも老朽箇所の更新・点検の実施について考慮していただくよう希望する。

百周年記念館利用案内（技術部 HP 内）一部印刷しファイルしたものを百周年記念館に配置。

<http://www.tech.eng.kumamoto-u.ac.jp/info/archive/100shunen-manual.pdf>